

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2018-139895(P2018-139895A)

【公開日】平成30年9月13日(2018.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-035

【出願番号】特願2017-36075(P2017-36075)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月2日(2020.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技に関する当否判定を行い、前記当否判定の結果が小当たりであるときに小当たり遊技を実行し、前記当否判定の結果が大当たりであるときに大当たり遊技を実行する遊技機において、

前記大当たり遊技には、その大当たり遊技の開始から途中までの態様が前記小当たり遊技の態様と区別困難に構成される特殊大当たり遊技が含まれていて、

可変条件が成立したときに、第1状態から所定期間だけ第2状態に変化する可変部材を有し、

遊技状態には、通常遊技状態と、前記通常遊技状態よりも前記可変条件の成立が容易な特別遊技状態と、が設けられ、

前記特別遊技状態の終了条件には、前記大当たり遊技の開始が含まれ、

前記小当たり遊技は、前記特別遊技状態において前記小当たりとなったときに、前記通常遊技状態において前記小当たりとなったときよりも実行時間が短くなるように構成されている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献1の遊技機では、始動入賞口を開閉する開閉部材の動作態様が大当たり遊技の開始を契機にして変化することがあり、開閉部材の動作から大当たりと小当たりの何れに当選したかが先バレするという問題があった。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

第1の手段は、遊技に関する当否判定を行い、前記当否判定の結果が小当たりであるときに小当たり遊技を実行し、前記当否判定の結果が大当たりであるときに大当たり遊技を実行する遊技機において、前記大当たり遊技には、その大当たり遊技の開始から途中までの態様が前記小当たり遊技の態様と区別困難に構成される特殊大当たり遊技が含まれていて、可変条件が成立したときに、第1状態から所定期間だけ第2状態に変化する可変部材を有し、遊技状態には、通常遊技状態と、前記通常遊技状態よりも前記可変条件の成立が容易な特別遊技状態と、が設けられ、前記特別遊技状態の終了条件には、前記大当たり遊技の開始が含まれ、前記小当たり遊技は、前記特別遊技状態において前記小当たりとなったときに、前記通常遊技状態において前記小当たりとなったときよりも実行時間が短くなるように構成されている遊技機である。